

お知らせ

2026年2月12日
九州電力株式会社

玄海原子力発電所4号機の使用済燃料を3号機へ輸送しました

当社は、玄海原子力発電所の使用済燃料の貯蔵余裕を確保するため、3号機の使用済燃料プールについて、貯蔵能力変更（リラッキング）工事及び4号機の使用済燃料も貯蔵できるよう共用化を実施しました。

また、4号機の使用済燃料貯蔵対策として、3、4号機の使用済燃料の貯蔵量の平準化を目的に、4号機の使用済燃料を3号機へ輸送することとしていました。

(2025年11月7日お知らせ済み)

今回、計画通り4号機の使用済燃料126体を3号機へ輸送しましたのでお知らせします。

【輸送期間】

2025年11月21日～2026年2月11日

【輸送後の使用済燃料プールの貯蔵状況】

	貯蔵容量	貯蔵量
3号機建屋	1,672体	1,232体
4号機建屋	1,504体	1,166体

当社は、使用済燃料の貯蔵管理に万全を期するとともに、積極的な情報公開と分かりやすい説明に努めてまいります。

以上



「快適で、そして環境にやさしい」
そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。
それが、私たち九電グループの思いです。